

# 第1学年国語科学習指導案

日時 平成16年10月29日(金)4校時  
児童数 男8名 女12名 計20名  
授業者 藤原 俊江  
場所 1F 第1学年教室

- 1 単元名 「はっきりはなして、しっかりきこう」  
教材名 「わたしのたからもの」 - 光村図書出版1年下 -

## 2 単元について

### (1) 教材について

本教材は、学習指導要領のA「話すこと・聞くこと」の内容ア、イ、ウのすべてについて、言語活動例を組み入れながら学習し、その力の向上をねらいとしている。

1年生も後半となり、ここでは、これまでの学習の積み重ねの上に立って、児童の身近な話題と考えられる「たからもの」を題材に、「話すこと・聞くこと」の技法や態度の全般について大切なことを再確認しつつ、その定着を図っていく。

特に、話す前に簡単な文章を書かせる点で、関連しているのは、「こんな本を見つけたよ」「ずっと、ずっと、大好きだよ」「おみせやさんごっこをしよう」「アルバムをつくろう」の教材である。話す前に書かせることは、学習者本人にとって考えをまとめるうえで、意味があるだけでなく、その過程で教師が適切なアドバイスを行う機会が得られるという点でも有効である。

### (2) 児童の実態

入学してから半年以上が経ち、児童はいろいろな面で学校生活に慣れてきた。入学時はみんなの前で話すだけで泣きそうになっていた子もいたが、様々な場面で話したり発表したりする経験をしてきたことで、大きな声ではっきりと話そうとする子が増えてきている。

これまでの学習では、初歩的な詩や物語、説明文などにもふれ、いろいろな場面で、話す・聞く・読む経験を積んできた。音読練習を続けたことで、口の開け方や声の出し方、姿勢に気をつけて読むようになってきた。聞く側として、友達の読み方の良かったところを発表できる子も何人か出てきたためか、何度か練習すると、自信を持って声を出せる子が増えてきている。

しかし、友達や先生の話最後まで聞こうとする姿勢には、まだまだ個人差があるので、話している人の目を見て聞くことと、「～です。」とおしまいまで、はっきりと言えるようにすることを指導中である。

### (3) 指導にあたって

本教材では、これまでの学習の積み重ねの上に立って、「わたしのたからもの」を題材に、「話すこと・聞くこと」の技能や態度の全般について大切なことを確認しつつ、その定着を図っていく。

第一次では、自分の宝物を選び、知らせたい内容を考える。その際、実物や絵、写真などを用いることによって、話を分かりやすく印象的なものにできることに気付かせたい。広くいろいろな「たからもの」がありうることを具体例を挙げながら説明する中で、ここでは、教室に持って来ることができる具体物を選ぶことを確認させたい。

第二次では、教科書やCDを参考にして、グループで話す練習をする。みんなの前で話することが苦手な子も多いので、CDを活用してグループで練習する時間を設けることで話すことに慣れさせたい。

第三次では、「私の宝物大会」を開き、話したり、聞いたりする。声の小さい子や話すことに自信のない子については、聞く側の姿勢も大切であることを指導したい。質問するときには相手が答えられそうなことを聞くようにさせ、話す相手を思いやる心をもたせたい。

### 3 研究テーマとの関連

本実践では、これまでの学習の積み重ねの上に立って、児童の身近な話題と考えられる「たからもの」を題材に、「話すこと・聞くこと」の力の向上をねらいとしている。

書く活動では、自分の宝物についてのみんなに知らせたいことをワークシートに、簡単にまとめさせたい。

話す・聞く活動では、最初に紹介の仕方のモデルを示し、それを基にひとりで・隣の人やグループで、練習させる。よい例を示すことで、自分もそれに近づくようにならなうという意欲も出てくると考える。

また、本単元を通して、次の五つの言語活動を明確にしていく。

相手意識	グループ、学級の友達に対して
目的意識	自分の宝物をみんなに伝えるために
場面状況意識	グループ、全体での発表の中で
方法意識	話し合いや質問の仕方を学び、グループで練習することで
評価意識	自己評価や相互評価をする場を設ける

### 4 単元目標及び評価規準

自分の宝物についてはっきり話したり、友達の話に興味をもって聞いたりする。

観 点	評 価 規 準	評価場面 [ 分析方法 ]
関心・意欲・態度	・友達の宝物はどんなものが、興味を持って聞いている。	・振り返りカード[記録分析] ・観察 [ 行動分析 ]
能力	話す・聞く	・観察 [ 発言分析 ] ・振り返りカード[記録分析]
	書く	・観察 [ 行動分析 ] ・ワークシート[記録分析]
言語事項	・みんなの方を向いて、聞いている人に分かるようにはっきり話している。	・観察 [ 発言分析 ]

### 5 指導計画と評価規準 [ 全 6 時間 ]

次 時	指導形態	学習計画	評価規準	具体的評価規準		努力を要すると判断された児童への具体的な手立て	研究テーマとの関連
				A (十分満足)	B (概ね満足)		
一次	1 2	一斉 個人 ・自分の宝物を選び、話す内容を考える。	・宝物をできるだけたくさん思い浮かべ、友達に伝えたい内容を考えている。(関・意・態)	思い浮かべた宝物の中から、知らせたい内容を自分で考え、まとめている。	思い浮かべた宝物の中から、知らせたい内容を考えている。	知らせたいことを決められない場合は、相談にのりながらいっしょに考える。	導入の工夫
二次	3	一斉 ・C Dを聞いて、話し方や質問の仕方を確認する。	・C Dを聞いてどんなところに気をつけて話したり聞いたりすればよいかに気づいている。(話・聞)	話し手・聞き手のそれぞれのポイントがきちんと分かっている。	C Dを聞いて、しっかりと話すことと受け答えについてのポイントに気づいている。	必要に応じて、適宜止めたりしながら、大切なポイントに気づかせていく。	場の工夫 様々な言語事項の指導
	4 (本時)	一斉 グループ ・話し方や質問のしかたを練習する。	・グループで分担を決め、話したり質問したり練習をしている。(話・聞)	声の大きさを考えて話したり、答えやすいように質問したり練習をしている。	自分の宝物について話したり、友達の発表に質問したり練習をしている。	グループの中での声の大きさや話す内容、やりとりの仕方など、個別にまわって、自信を持たせる。	モデルの提示 練習の場の設定 相互評価
三次	5	個人 一斉 ・自分の宝物発表会をし、発表したり、聞いたりする。	・みんなの前で自分の宝物を発表したり、友達に質問したりしている。(話・聞)	大きな声で堂々と発表し、友達が答えやすいように適切に質問をしている。	みんなに聞こえる声ではっきりと発表し、友達に質問をしている。	自信を持って発表できるように、側にいて励ます。むやみでなく相手が答えやすいような質問をするようにさせる。	状況に応じた話し方

6 本時の指導

(1) 目標

話し方や質問のしかたに気をつけて、練習することができる。

(2) 具体の評価規準

十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要する児童への支援
声の大きさを考えて話したり、答えやすいように考えて質問したりしている。	自分の宝物について話したり、友達の宝物について質問したりしている。	グループ内での声の大きさや話す内容、やりとりの仕方など、個別にまわって自信を持たせる。

(3) 展開

階	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 評 価
と ら え る 5 分	<p>1 発音・発声練習をする。</p> <p>「あいうえお」</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>はなしかたやしつものしかたが、 じょうずになるようにれんしゅうしよう。</p> </div>	<p>みんなの前での発表につながるように、口を大きく開けてはっきりと声を出させる。</p> <p>本時にがんばりたいことを何人かに発表させて意欲付けをさせる。</p>
み と お す 5 分	<p>3 話し方や質問のしかたの確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時にまとめた話し方や質問のしかたのポイントを確認する。</li> <li>提示された練習のモデルをよく見て参考にする。</li> </ul>	<p>前時にCDを聞いてまとめたポイントを簡単に確認させる。</p> <p>上手な子をモデルとして提示し、意欲付けをさせる。</p>
ふ か め る 30 分	<p>4 グループで練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表の練習をする。(個人)</li> <li>話し手が一人、聞き手が一人、残りの二人がチェックの分担で練習する。</li> <li>1回練習したところで、全体で再確認して、2回目を練習する。</li> </ul>	<p>練習の場は、別のグループとなるべく離れさせて、内容に集中させたい。</p> <p>役割ごとにワッペンを用意し、チェックカードに記入しながら、集中して練習させる。</p> <p>1回目と2回目で練習のポイントを示して取り組ませることで自信を持って発表できるようにさせる。</p> <p>自分の役割にしたがって練習に取り組めたか。</p>
ま と め る 5 分	<p>5 練習して気付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループでよかったところ</li> <li>次時に気をつけたいこと</li> </ul> <p>6 今日の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りカードに をつける。</li> </ul>	<p>上手に練習していたグループがあれば、発表させたい。</p> <p>友達のよかったところや次時に自分ががんばりたいことに気づいたか。</p> <p>本時を振り返ってカードに をつけさせる。</p>

(4) 板書計画

ねこの顔	ぞうの顔	ワニの顔	ポイント
<ul style="list-style-type: none"><li>・よかつたところやがんばったことをほめてあげる。</li><li>・もうすこしががんばってほしいことをおしえてあげる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・どうしてそれがたからものなの？</li><li>・だれにもらったの？</li><li>・いつ、かっでもらったの？</li><li>・どうしてすきななの？</li><li>・どんなおもいがあるの？</li></ul> <p>はなすひとのかおをみながらきく。</p>	<p>こえのおおきさをかながえてはなす。 しつもんされたことをきいてこたえる。 さいごまではつきりとはなす。 きくひとのかおをみながらはなす。 とちゅうでしゃべらないでさいごまできく。 もっとしりたいことやたしかめたいことをしつもんする。 うまくしつもんする。</p>	<p>わたしのたからもの はなしかたやしつもんのしかたが、じょうずになるようにれんしゅうしよう。</p>